

本部;代表 姜徳洙(大阪府八尾市志紀町 3-30 八尾市韓国人会館内 TEL:072-949-1521, FAX:072-949-4337)。編集; 理事長 久保井規夫(大阪府高槻市川添 1-3-20 TEL. FAX:072-695-3210 Email:aphckuboi@ybb.ne.jp)

2/22(日) 第七回「竹島の日」を考え直す集い

「日韓基本条約」五十年を迎え、「竹島の日」十年を批判する **を終えて**



2015.2/22「竹島の日」を考え直す集い 講演の各氏

標記テーマの集会を大阪市エルおおさか南館五階ホールにて開催した。「竹島の日」や領土教育による領土ナショナリズムによる対立でなく、正しい歴史認識による解決を求めた。

講演は、先ず、黒田伊彦(副代表)が、「『日韓基本条約』と竹島密約なるもの」であった。竹島問題を日韓基本条約では触れない「竹島密約」なるものと、軍「慰安婦」など個人的補償請求権などを検証し、今日、外交文書未公開の「秘密保護法」施行下での状況を告発した。次に、金文吉(釜山外国語大学名誉教授)からの講演「独島義勇守備隊について」は、特別資料冊子を用意して、島根県竹島問題研究会が「事実を確定していない」としていた独島義勇守備隊の存在と、その活動足

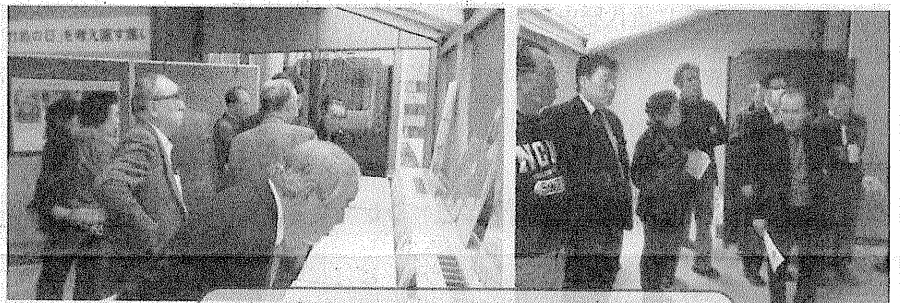
跡を立証した。第三講演は、仕田原猛(やまと言葉研究家)の「『KOREA TODAY』に連載した『竹島=独島を考える』を語る」であった。既刊書籍を読み解き、竹島=独島問題を分かり易く連載したとのことであった。

ここで休憩に入り、その時間に、アジア民衆歴史センター提供によるパネル展示史料の解説が、主宰者久保井より行われた。「独島=竹島問題と韓国『併合』日露戦時の領土略奪である」、「軍『慰安婦』問題の真実」女性の人権を侵害した戦争犯罪である」の解説であった。特に、軍「慰安婦」問題については、日本

軍が慰安所制度を設けたそれ自体が女性の性奴隷化であること、「朝日新聞」パッシングとともに、元「慰安婦」の証言から強制された事実を否定しようとする策動に、的確に反論した新史料が提示されていた。「このような史料を私たちは初めて見た」「これならきちんと否定派に反論できる」「ぜひ、各地でも展示をしてほしい」との要望の声が、会場から出された。

第四講演は、「久保井規夫『図説竹島=独島問題の解決』の焦点は何か」を著作者の久保井規夫(理事長)から指摘した。プロジェクトにより、発掘した多くの新史料を映写しながら解説し、日本外務省の「竹島問題を理解するための10のポイント」の不合理を完膚なきまでに批判し、独島=竹島の韓国領を明晰にした。この講演と著作は、韓国でも重視する処となり、後日、韓国国会外交委員会に参考人として招聘されることとなった。

最後に、例年2/22「竹島の日」を考え直す集いで、政府・島根県に対する抗議・要請の集会決議を満場の拍手で採決し、郵送した。本年は、検定教科書中学社会科に、竹島=独島を「日本領」「韓国が不法占拠」



30点のパネルが展示され久保井規夫理事長が解説した

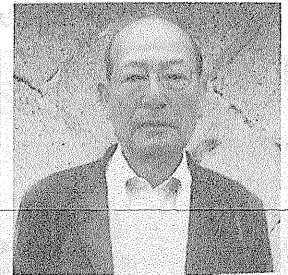


との、一方的な記述をさせることを検定合格基準としたことに抗議の意を加え、「竹島の日」・領土教育抗議の集会決議とした。新しい内容なので、決議文をニュース今号に載録することとした。また、久保井の第四講演の要旨は、既にニュース6号に掲載済みである。なお、本会理事・会計監査でもある仕田原猛の講演は初めてなので、ニュースに載録することで要旨をまとめて戴いた。

「コリアツデー」に「竹島(独島)を考える」を連載して 仕田原猛(やまと言葉研究家)

日韓の友好関係の進まない原因の一つに、「竹島問題」がある。日本政府は、韓国側の主張を国民に知らせることなく、「竹島は、歴史的にも国際法上も日本の固有の領土である」と言って、国民に韓国への敵愾心を煽っている。日本の主張は、竹島に付いての重要な歴史的事実を隠蔽するか、あるいは歪曲している。私は、韓国側の主張、日韓両国の学者の説などを丹念に読み、昨年六月から本年一月まで、八回にわたって月刊誌「コリアツデー」に連載してきた。

歴史的事実の隠蔽の例としてまず江戸時代の天保七年の事件。石見国浜田の回船問屋、会津屋八右衛門は、鬱陵島に渡海し、更に朝鮮本土へも渡って密貿易した首途で、幕府に捕えられ、全国に異国渡海禁止令の高札が立てられるとともに、関係者は断罪された。次は、明治十年に発令された「太政官指令」で、「鬱陵島外一島(竹島=独島)は、日本と関係ないことと心得よ」と指示している。三つ目は終戦直後、連合国軍が出した最高司令部訓令で、その第677号には、「鬱陵島・リアンクール島(竹島)は日本領から除かれる」と書かれている。



仕田原猛(理事・会計監査)

本会の新顧問に就任して

金 基周

独島に関するいろんな古文書は、韓日両国の記述でも、韓国の領土であることを証明している。日本政府は、我田引水の論理で自国の領土であると歪曲している。何時の間にか、実効支配が「不法占拠」という表現に変わったのも、その一つである。一つしかない真実を弱肉強食の時代の国力によってつくられた間違いを、今も認めさせようとしている。歴史の真実の前で、日本政府は謙虚に近代歴史を見つめ直してほしい。今日も独島には韓国の大極旗が靡いている。これが将来に真実である。

歴史的事実が歪曲して書かれている例として、1905年1月、桂内閣による竹島の日本領土編入についての閣議決定がある。すなわち日本は、①竹島は他国に於いて、これを占領したと認めるべき形跡がない。②中井養三郎(隠岐島の漁師)から「リャンコ島(竹島)領土編入並びに貸下げ願い」が出されたので、それに応えた。③また、彼はこの島に移住していない。一漁師の願いを受け付けたかのように装いながら、これほど嘘で固めた日本政府の説明は、この世の中にそう多くは無い。

昨年十月、竹島へ行って来た。島と云うより、岩礁で、人間はおろか犬の子一匹も住めなかつたところである。普通の日本人にとって竹島は何処にあるかも知らず、全く関心がない。しかし、韓国人にとって、此の島、独島は、日本による韓国侵略の最初の犠牲である。日本は、1905年竹島を強奪し、1910年韓国を日本の植民地にした。黒田伊彦先生の言葉を借りれば、韓国人にとって「独島は、韓国併合と過酷な植民地支配への憤怒の象徴」なのだ。侵略者だった日本人は、隣国の人々が味わったこの苦しみを胸でしっかりと受け止め、友好関係を築いていかなければならない。

久保井理事長、著作について韓国国会外交委員会で発表

本年2/27(金)・3/1(日)、韓国KBSテレビにて、「独島問題、今、日本では」が放映され、韓国世論を喚起した。これは、保坂裕二氏(世宗大学教授)の案内で、独島(竹島)の韓国領有を指摘する史料や研究者・関係団体をインタビューしたものであった。久保井規夫「図説 竹島=独島問題の解決」や大阪人権博物館で開催した「特別公開 原史料より明らかになる日本と韓国の歴史」が取材された。関わったアジア民衆歴史センター、「竹島の日」を考え直す会の活動も紹介された。来る6/20(土)集会上映する。

久保井規夫「図説 竹島=独島問題の解決」に掲示された新史料を韓国で提示し解説して欲しいとの要請を受けて、久保井理事長が韓国に出向き、4/23(木)~25(土)、韓国国会の外交委員会、東北亜細亜歴史財団、慶尚北道独島財団、独島体験館の政府・自治体関係の方々と、忙しく発表・講演・交流を行なった。次の日程・内容であったが、更なる研究・交流の企画が協議・予定され動き出す予定である。今後、関係諸氏・団体へ連絡を執り働きかけていきたい。

◆4/23(木)午後、Goyang Global 高校で講演。東北亜細亜財団、釜山独島学堂と協議。

◆4/24(金)午前、韓国国会外交委員会にて発表。保坂裕二氏が応対。慶尚北道独島財団との協議。

東北亜細亜歴史財団にて講演と今後の歴史認識関係のプロジェクト研究活動を確認。

◆4/25(土)午前、東北亜細亜歴史財団主催の軍「慰安婦」問題全国教師研修会にて講演。更なる史料の交流と問題解決への関係団体との協力を確認。独島体験館を訪れ、今後も史料と研究交流を確認した。

この活動と結びついて補強するマスメディアとして、KBS 放送、MBS 放送から、歴史認識ドキュメント製作が企画提案されている。独島=竹島問題、領土教育、軍「慰安婦」問題、関東大震災と朝鮮人虐殺、朝鮮人強制連行・労働など、数年間にわたる製作である。韓国関係団体とも連携しながら、本年八月から撮影を日韓両国で始め、順次に製作して放映される。本会の参画も要望されている。

「竹島の日」・歪んだ領土教育をやめる要請

内閣総理大臣 安倍 晋三様
島根県知事 溝口 善兵衛様

日本政府と島根県は、「竹島は、歴史的事実に照らしても、かつ国際法上も明らかに我が国固有の領土です」との見解に立ち、韓国の独島(竹島)に対する領土主権の行使を、「不法占拠」と見なし、領有権問題を国際司法裁判所に付託する提案をして、韓国政府からは「領土主権を付託する謂われはない」とされている。日本政府の外務省「竹島問題を理解するための10のポイント」(2008年2月)や、島根県の「竹島、かえれ島と海」

(2010年2月)「竹島 日本の領土であることを学ぶ」(2013年4月)や、「島根県竹島問題研究会報告書」(2005~2012年)。これらの公式資料は、日本の竹島領有に腐心する為に、如何様な史実・史料の隠蔽、改竄、論議逃避も行った内容であり、日本の領有権を正当に立証できていない。しかも、韓国政府からの反論である「韓国の美しい島、独島」(外交通商部)、「日本人が知らない独島10の真実」(東北亜歴史財団)についても、まともな対応をしていない。日韓の歴史研究者が史実・史料を相互に分析して、日韓両国民が知る情報・理解しあう機会が、設定されていないからである。

特に、島根県が2005年3月制定した「竹島の日(2/22)を定める条例」は問題である。明治政府が、リアンクールロック(今日の竹島=独島)を、1905年1月28日秘密閣議決定に基づき、同年2月22日島根県告示によって、隠岐島司所管としたことに起因しているからである。この閣議決定・2/22島根県告示は、「竹島(独島)を朝鮮領土であり島根県地籍としない」とした明治政府「太政官指令」(1877年3月29日)を自己否定する矛盾したものであり、一事不再議の憲法違反である。また、告示五年前に、「大韓帝国勅令四十一号」(1900年10月25日)で、独島(竹島)を大韓帝国江原道に付属させて鬱島郡守の管轄とし、官報にも公示された史実を踏みにじった国際法違反である。日露戦時に、独島=竹島を戦略拠点にする為に派兵日本軍が韓国の主権を踏みにじっていた強圧化で行われた、韓国「併合」と連動した侵略行為である。この「竹島の日」条例で、領土ナショナリズムが煽られ、戦後、植民地支配の誤りを越えて培われてきた、日韓友好と在日韓国・朝鮮人との共生を積み上げてきた絆は、敵愾心で傷つけられている。日本国民が、不十分な情報しか提供されていない情勢では、「ヘイトスピーチ」や歪んだ領土教育で、韓国による竹島(独島)の「不法占拠」などとの誤った決めつけが一面的に広められる恐れがある。

従って、私たちは、「竹島(独島)問題を、対立でなく友好の立場で解決する為に、次の要請をする。



政府への要請決議を読む許玉姫理事、右は司会の朴清理事



講演に聞き入る参加者の皆さん

図 C-2 同部分拡大図。

図 D 「新刻日本輿地路程全図」安永四(1775)年三月試作版。「改正日本輿地路程全図」の元版。

図 E-1 「改正日本輿地路程全図」の正規版。文化八(1811)年東都書林・浪華書林。図 E-2 同部分拡大図。

図 F-1 「改正日本輿地路程全図」の海賊版。弘化元(1844)年。

図 F-2 版元・刊行年部分、浪華書房。

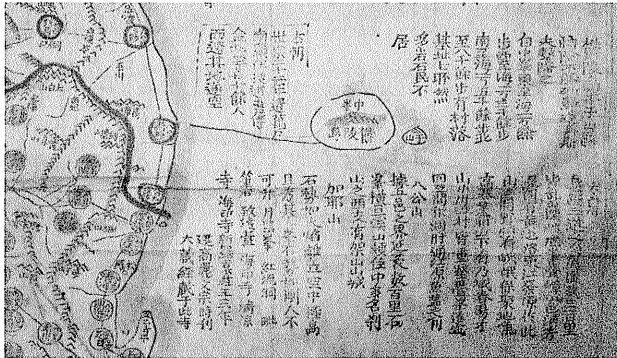


図 R-2 「海左全図」の鬱陵島拡大図。于山島が南東に正しく描かれる。なお、倭寇・脱税対策として空島政策を執っていたことが記されていることが貴重である。

図 H-2 同高札の活字解読文。

図 I-1 「朝鮮竹嶋渡航始末記」付図。

図 I-2 「竹嶋渡海一件記」付図。

図 J 会津屋八右衛門頌徳碑。昭和十(1935)年。島根県浜田市。

図 K 三波春夫「海に虹をかけた男、会津屋八右衛門」。「異国と富の取引が国の栄となる」



明治十(1877)年、島根県提示の竹島・松島付図。

図 L 1750年、仏国版ロベール「L'EMPIRE DU JAPON」。Fanling-tao 鬱陵島、Tchiang-chan-tao 于山島。

図 M 1872年、英国版 AUGUST PETERMANN 「CHINA, KOREA, JAPAN」部分 拡大図。

図 N 1840年、シーボルト「日本国地図」。Takashima(Argonaute) Matsusima(Dagelet)を欧米に流布。

図 O 慶応三(1867)年、勝海舟「大日本国沿海略図」部分拡大図。日本地図、最初のリアンクールロックの登場。

図 P-1~4 天明五(1785)年、林子平「三国通覧図説」及び付図「三国図」「朝鮮八道図」。

図 Q-1~2 嘉永七(1854)年六月、工藤東平「大日本沿海要疆全図」。鬱陵島、竹島、松島と日本海(東海)に三島が記される。



「1999年、新日韓漁業協定暫定水域」(「漁業に関する日本国と大韓民国との間の協定」1998.11.28)

図 R-1 十九世紀前半、「海左全図」。図 R-2 「海左全図」の鬱陵島拡大図。

図 S 明治十(1877)年、島根県提示の竹島・松島付図。

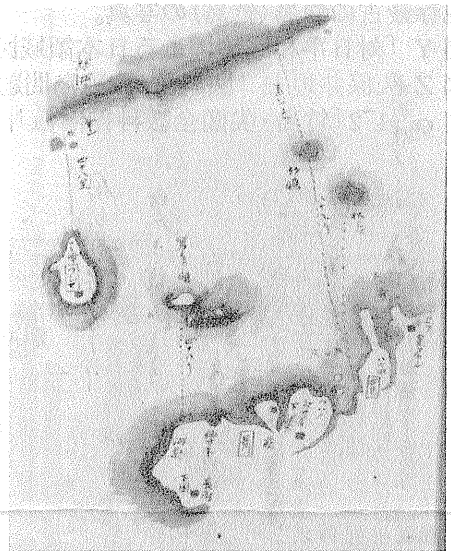
図 T 光武四(1900)年、「大韓帝国勅令四十一号」。石島=独島の実証が必要である。

図 U-1~2 1857年、露国測量のリアンクールロック水路図。

図 V-1~4 独国人 HESSE-WARTEGG 「KOREA」1895年、付図「KOREA, NORDOST-CHINA UND SUD-JAPAN」。

図 W 佐世保海軍勲功表彰会「日露海戦記」付図(1906.7.23)。

図 X-1~7 「海軍望楼・軍用海底電線設営工事写真史料(1904~05)」抜粋。



天保竹島一件取調書付図。竹島・松島(独島=竹島)は朝鮮領と色付けされている。

図 H-1 「天保竹島一件断罪の高札」。全国大名・代官の津々浦まで徹底された禁令。天保八(1837)年十二月、高田役所。



図 V-1 独国人 HESSE-WARTEGG 「KOREA」1895年、付図

図 M 1872年、英国版 AUGUST PETERMANN 「CHINA, KOREA, JAPAN」部分 拡大図。

図 N 1840年、シーボルト「日本国地図」。Takashima(Argonaute) Matsusima(Dagelet)を欧米に流布。

図 O 慶応三(1867)年、勝海舟「大日本国沿海略図」部分拡大図。日本地図、最初のリアンクールロックの登場。



図 X-1 「海軍望楼・軍用海底電線設営工事(1904年)」。現存最古の独島(竹島)の写真。日本軍艦「対馬丸」撮影。

図 U-1~2 1857年、露国測量のリアンクールロック水路図。

図 V-1~4 独国人 HESSE-WARTEGG 「KOREA」1895年、付図

「KOREA, NORDOST-CHINA UND SUD-JAPAN」。

図 W 佐世保海軍勲功表彰会「日露海戦記」付図(1906.7.23)。

図 X-1~7 「海軍望楼・軍用海底電線設営工事写真史料(1904~05)」抜粋。

現存最古の独島(竹島)の写真。

図 Y 「対日平和条約による日本領域図」 毎日新聞社(1952. 5. 25)

図 Z 久保井規夫「図説竹島=独島問題の解決」 拓植書房新社(2014. 6. 20)

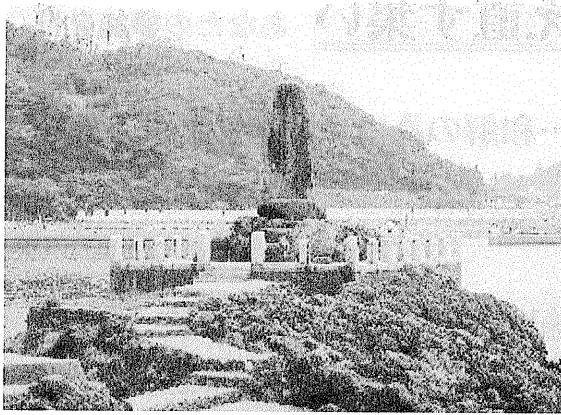
図 α-1~2「竹島・尖閣全教科書に」(「読売新聞」2015. 4. 7)。「竹島の日」って何をするの?(「朝日新聞」2013. 2. 10)



図 α-1 「竹島・尖閣全教科書に」(「読売新聞」2015. 4. 7)。

読者数最大の「読売新聞」記事を転載した。北方領土に就いては是まで教科書に掲載されてきたが、竹島(独島)と尖閣諸島に就いて、全ての教科書に掲載されるのは今年度から初めてとなる。日本政府の主張だけで、「韓国が不法占拠している」との韓国パッシング! 在日韓国・朝鮮人の子どもたちへのいじめを誘発する! この来年度から使用される教科書の記述を、教師はどう教えるのか? 本会からの指導資料・留意点・手引きの作成が必要とされているのではないのか。簡潔に、そして学校現場で活用しやすい図版的なものがよいだろう。

天保竹島一件の浜田藩八右衛門と松浦武四郎、吉田松陰



天保浜田藩竹島一件、八右衛門頌徳碑全景

松浦武四郎(伊勢出身、1818~1888)は、幕末・明治維新に樺太・択捉島探検や蝦夷地を北海道と名付けたり、アイヌの実情を調査したことで知られている。その若き武四郎が、対面したのが、英国の対中アヘン戦争(1840)、ロシアの開国要求(1853)、米国ペルー艦隊の浦賀来航(1853)である。護国・国土・外交の重要を知る時勢であった。なによりも、天保七(1836)年七月、浜田を訪れた19歳の武四郎は、発覚した天保竹島一件の八右衛門の竹島・朝鮮渡海の一件を知る。そして、竹島(鬱陵島)が、西日本

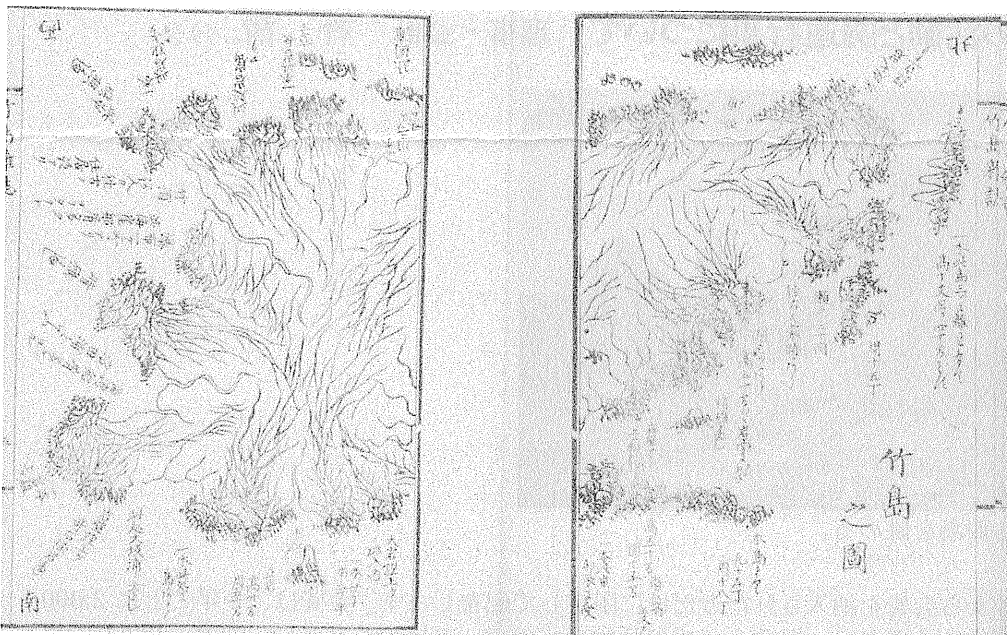
の護国の要所であることが知られていないことを認識した。

武四郎は、天保竹島一件の浜田藩八右衛門、松江藩金森建策「竹島図説」(1853)を参考に、三回に渡って「たけしまざっし」と題して次のように字体を変えながら啓発・刊行した。「他計甚麼雑誌」(1854)・「多気甚麼雑誌」(1864)・「竹島雑誌」明治3(1870)の冊子である。その内容は、「去夏、墨夷赤狄(異国)東西に滞船し、国事が杞憂すべき状態にある」「竹島は朝鮮と我が国の間に在り、人が居住していないので此処に外国船が集まり、山陰の諸港に出没すれば、その害は少なくない」「蝦夷、樺太、伊豆七島に比して、竹島はあまりにも知られていない」と状況を伝えた。さらに「日本の有志の士が、彼の地に渡り、外国船と誠信を通じ、世界の情勢を探知すれば得策となることこの上ない」とも指摘した。



会津屋八右衛門氏頌徳碑(拡大)

彼が掲載した「竹島図絵」は、金森建策「竹島図説」と同様、浜田藩八右衛門が作成した絵図が参考にされたことが、これらの絵図の比較・合致することから判明した。



松浦武四郎「たけしまざっし」の竹島絵図

さて松浦武四郎の提起に、賛同したのが吉田松陰であり、その松下村塾の塾生や関係者である。桂小五郎(木戸孝允)・村田藏六(大村益次郎)・坂本竜馬たちである。長州藩主に「開拓に関する建言書」までも提出したが、朝鮮領であるが為、開拓は許可されず、実現しなかったのである。

戦後七十年、領土ナショナリズムの脅威を前に

6/20(土) **第八回「竹島の日」を考え直す集い** あなたの参加を!!

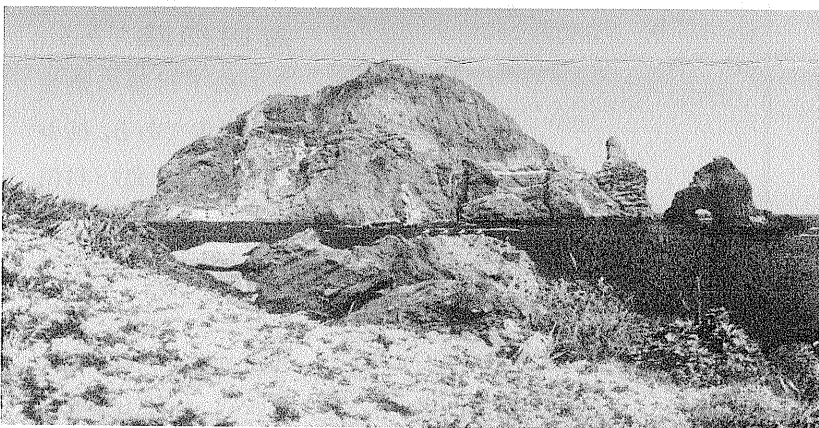
◆**テーマ** 独島(竹島)問題の解決に向けて…和解の為に正しい歴史認識を

◆**日時** 2015年6月20日(土) 13:30~16:00

◆**会場** 八尾市韓国人会館(大阪府八尾市志紀町3-30) ☎072-949-1521
JR天王寺駅より関西本線で、志紀駅下車。西口より北へ2分

◆**内容**

1. 歓迎・友好(八尾子ども会の演奏)。開会挨拶 代表 姜徳洙。 15分
2. DVD「独島、いま日本では」上映、54分。(韓国KBS3/1放映、日本語説明)。その後休憩5分。
3. 講演Ⅰ; 「検定中学教科書と領土教育批判」 副代表 黒田伊彦。 25分
4. 意見(和解と解決の為に一言) 趙吉夫(理事)、金慶東(慶尚北道)ほか。 15分
5. 講演Ⅱ; 「マスメディアの独島(竹島)報道と戦後70年首相談話を前に」
理事長 久保井規夫。 25分
6. 連絡・閉会「当面の活動と関連行事について」理事・会計 朴 清。 10分



現在の独島(竹島)の東島から西島を眺める。

編集後記 ニュースは、今号から会費を納入された方だけに限定して配布します。会費は、一年ごとに2,000円です。未納の方は、急ぎ御納入ください。財政あつての活動ですので、ご協力ください。また、6/20(土)集いを成功させるため、周りに参加を呼び掛けてお誘いあわせの上、御参加下さい。